

令和6年度

学生募集要項

医学部 / 総合型選抜

公立大学法人

福島県立医科大学

福島県立医科大学の理念

福島県立医科大学は、県民の保健・医療・福祉に貢献する医療人の教育および育成を目的に設立された大学である。同時に、研究機関として、不断の研究成果を広く世界に問いかけるといふ重要な使命を担っている。

もとより医療は、すべての医療人が共に手を携えて、すべてのひとのいのちと健康の問題に真摯に向き合い、その未来を拓く営為である。その基盤とすべきところは、個人の尊厳に対する深い配慮と、高い倫理性である。

福島県立医科大学は、以下に掲げることが本学の理念として、教育、研究および医療を幅広く推進していくものとする。

- 1 ひとのいのちを尊び倫理性豊かな医療人を教育・育成する。
- 2 最新かつ高度な医学、看護学および保健科学を研究・創造する。
- 3 県民の基幹施設として、全人的・統合的な医療を提供する。

福島県立医科大学のアドミッションポリシー

本学は、次のような資質を持つ学生を求めます。

- 高い倫理観と豊かな人間性を持ち、命を尊ぶ心を備えた人
- 十分な基礎学力を有し、医療に関する高度な専門的知識・技術の修得を目指す人
- コミュニケーション能力にすぐれ、協調性を持つ人
- 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を持つ人
- 科学的探究心と創造性を備え、医療の分野で、世界に飛躍しようとする志を持つ人

福島県立医科大学医学部 アドミッションポリシー

福島県立医科大学医学部は、心を感じ、知を持ち、技を活かし、和を育み、地域を創造する医師を養成します。

●求める学生像

この理念・目標を実現するために、次のような人を求めます。

1. いのちを尊ぶ心を備えた人
2. 高い倫理観と豊かな人間性を備えた人
3. 広い視野と適切な判断力を備えた人
4. 科学的探究心と創造性を備えた人
5. 地域の発展や東日本大震災からの福島県の復興に貢献する熱意を備えた人

●入学者選抜の基本方針

入学後の修学のために、高等学校において以下の科目を修得していることが望まれます。

国語：『国語』

地理歴史・公民：「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、『倫理、政治・経済』のうちから1科目

数学：『数学Ⅰ・数学A』に加えて『数学Ⅱ・数学B』、『簿記・会計』、『情報関係基礎』のうちから1科目

理科：「物理」、「生物」、「化学」のうちから2科目

外国語：『英語』

1. 一般選抜（前期日程試験）

医師を目指す者として高い学力を有し、人格的に優れた者で、特に論理的思考力と探究心を備えた学生を求めています。

大学入学共通テストに加え、個別学力検査（数学、理科、外国語）、及び面接の結果、並びに出願書類を総合して選抜します。

なお募集枠の中に、将来福島県内の医療を担うという強い意志と情熱を持つ学生を求めるために地域枠を設けます。地域枠を受験する学生は入学後、「福島県緊急医師確保修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に県内の公的医療機関等に勤務することが条件です。

2. 学校推薦型選抜

学業・スポーツ・文化活動等において、特に優れた成績または実績を有し、人格的に優れた者で、他の模範となり、将来福島県内の医療を担うという強い意欲と情熱を持つ

者を求めています。

総合問題、大学入学共通テスト、及び面接試験の結果、並びに高等学校長の推薦書、調査書等の出願書類を総合的に評価して選抜します。選抜の対象となるのは、高等学校長が責任をもって推薦できる者で、大学入学共通テストの成績が各教科の配点合計の概ね80%以上の者です。

なお学校推薦型選抜の募集枠にA枠とB枠を設けます。A枠は福島県内の高等学校を卒業見込みの者または前年度の卒業生を対象とし、本学卒業後に本学附属病院または本学が指定する福島県内の医療機関等で3年以上、医学・医療に従事する（※）ことが条件です。B枠は福島県外の高等学校を卒業見込みの者または前年度の卒業生を対象とし、「福島県緊急医師確保修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に県内の公的医療機関等に勤務することが条件です。

※ 「3年以上、医学・医療に従事する」とは、2年間の臨床研修を含め、連続して3年以上、医学・医療に従事することをいう。なお、「臨床研修」とは、卒後臨床研修（初期研修）のことをいう。

3. 総合型選抜

医学を志す者として高い学力を有し、人格的に優れており、特に能動的で、リーダーの素養を有する学生を求めています。

総合問題、自己推薦書、調査書、特別活動に関する報告書等の出願書類、及び面接（MMI（※））を総合して選抜します。

※ MMI（Multiple Mini Interview）とは、1回の面接ではなく、受験者が評価項目別の面接室を移動しながら、各々独立した短時間の面接を複数回行って多面的に評価する面接手法。

4. 海外教育プログラム選抜

入学者の多様性を確保し、自立して世界的に活躍できる人材を育成するため、海外教育プログラム選抜を行います。

医師を目指す者として高い学力を有し、能動的で、国際的なコミュニケーション能力と優れた協調性を有する学生を求めています。総合問題、自己推薦書・特別活動に関する報告書等の出願書類、及び面接を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストは課しません。

5. 私費外国人留学生選抜

日本国籍を有しない者で、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」を受験し、かつ出入国管理及び難民認定法において大学生活に支障のない在留資格を有し、大学の定める諸要件に該当するものに対して、私費外国人留学生選抜を行います。

医師を目指す者として高い学力を有し、国際的なコミュニケーション能力と優れた協調性を有する学生を求めています。個別学力検査、面接、出願書類及び日本留学試験の結果を総合的に評価して選抜します。大学入学共通テストは課しません。

● 医学部のアドミッション・ポリシーチェックリスト

上記の入試においては、以下のチェックリストの比重に合わせて評価します（◎は○より大きい比重を表す）。

入試区分		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	科学的探究心	倫理観	地域貢献	能動性・リーダーシップ
一般選抜	大学入学共通テスト	◎	○					
	個別学力検査	○	◎					
	面接		○	◎	◎	◎	○	○
	調査書	面接の参考資料として利用						
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	◎	○					
	総合問題	○	◎					
	面接		○	◎	◎	◎	◎	○
	調査書・推薦書・志願理由書	面接の参考資料として利用						
総合型選抜	総合問題	○	◎					
	自己推薦書			○	○			◎
	活動報告書	○		○	○			◎
	面接(MMI)	○	◎	◎	◎	◎	○	◎
	調査書	参考資料として利用						
海外教育プログラム選抜	総合問題	○	◎					
	面接		○	◎	◎	◎	○	○
	自己推薦書・活動報告書	総合判定に利用						
私費外国人留学生選抜	個別学力検査	○	◎					
	面接		○	◎	◎	◎	○	○
	日本留学試験	◎	○					

目 次

福島県立医科大学の理念

アドミッションポリシー

医学部総合型選抜学生募集要項

1 趣 旨	1
2 募集人員、出願資格等	1
3 出 願 手 続	1
4 自己推薦書及び特別活動に関する報告書の登録要領について	4
5 ポスター作成要領	5
6 健康上、配慮を必要とする入学志願者の事前協議	6
7 健康診断書の提出等	6
8 入学者選抜方法	7
9 試験時間等	7
10 受験上の注意事項	8
11 不正行為	9
12 合格者発表	10
13 入学手続	10
14 入学辞退	11
15 学校推薦型選抜及び一般選抜への出願	11
16 入学試験結果の提供	11
17 個人情報の取扱いについて	12
18 そ の 他	12
令和7年度入学者選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目について（予告）	13
令和7年度入学者選抜における個別学力検査の実施教科・科目等について（予告）	19
令和7年度入学者選抜における大学入学共通テスト、個別学力検査等の配点について（予告）	21

【大学案内図（試験場案内図）】

医学部総合型選抜学生募集要項

1 趣 旨

福島県立医科大学医学部では、選抜方法の多様化を図り、学力に加えてその他の能力・適性をより重視した選抜を行うことを目的として、一般選抜、学校推薦型選抜に加えて総合型選抜を実施します。

具体的には、下記2の出願資格等に加え、グローバルな視点及び科学的探究心を有する者を、総合問題、自己推薦書、調査書、特別活動に関する報告書等の出願書類、及び面接（MMI（注1））を総合して選抜します。

（注1） MMI（Multiple Mini Interview）とは、1回の面接ではなく、受験者が評価項目別の面接室を移動しながら、各々独立した短時間の面接を複数回行って多面的に評価する面接手法です。

2 募集人員、出願資格等

募集人員	出 願 資 格 等
5名以内	① 高等学校を令和6年3月に卒業見込みの者 ② 医学を志す者として高い学力を有し、人格的に優れており、特に能動的で、リーダーの素養を有する者で、福島県立医科大学での勉学を強く希望し、合格した場合の入学を確約できる者 ③ 調査書の学習成績概評がA段階に属する者

（注1） 他の国公立大学・学部の総合型選抜及び学校推薦型選抜との併願は認められません。ただし、本学医学部の学校推薦型選抜との併願は可能です。

（注2） 本学医学部の学校推薦型選抜と併願している受験者については、総合型選抜での選抜を優先し、総合型選抜で不合格となった受験者のみ、学校推薦型選抜での選抜の対象とします。

3 出願手続

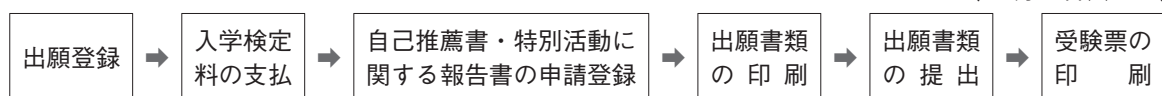
本学ホームページからインターネット出願サイトにアクセスし、出願登録を行ってください。

なお、インターネットから出願登録を行っただけでは出願手続完了とはなりません。インターネット出願登録後、出願書類を郵送または持参により下記(1)の出願期間内に提出する必要があります。

インターネット出願登録と出願書類の提出の両方を出願期間内に終えることが必要ですので、注意してください。

出願手続は、パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末からも可能です。次の流れに沿って、手続を行ってください。

(10月3日(火)から)



「出願登録」、「入学検定料の支払」、「自己推薦書・特別活動に関する報告書の申請登録」、「出願書類の印刷」、「出願書類の提出」のすべてを期間内に完了する必要があります。1つでも期間内に手続を完了していない場合は、出願を受理することはできませんので、十分注意してください。

(注1) 「自己推薦書・特別活動に関する報告書の申請登録」は、「書類申請システム (J-Bridge System)」より行います。詳しくは、「(4)自己推薦書及び特別活動に関する報告書の申請登録について」を参照してください。

(注2) 受験票は、「(8)受験票の印刷」に従い、印刷したものを試験当日に持参してください (受験票の郵送はいたしません)。

(1) 出願期間

令和5年9月15日(金) から 令和5年9月22日(金)まで **【必着】**

(注1) 出願書類を郵送する場合は、9月22日(金)までに必ず到着するよう、郵送期間を十分考慮の上、発送してください (期限を過ぎたものは受理しません)。

(注2) 出願書類を直接持参する場合の受付時間は、期間内の土曜日、日曜日を除く平日の午前9時から午後5時までです。

出願登録期間	令和5年9月13日(水) から 令和5年9月22日(金) 午後5時まで
入学検定料支払期限	出願登録した翌日の午後11時59分 (ただし、令和5年9月21日(木)及び22日(金)に出願登録した場合は、令和5年9月22日(金)午後5時まで)
出願書類提出期間	令和5年9月15日(金) から 令和5年9月22日(金) 【必着】

(2) 出願登録

出願方法に関する手順等については、「令和6年度入試インターネット出願ガイド」(本学ホームページに掲載)を参照してください。

入学検定料の支払完了後は、住所、氏名、電話番号以外の出願事項の変更は認めませんので、出願事項の入力・確認画面では、入力した内容に誤りがないか、必ず確認してください。

【写真画像について】

出願登録時に画像データをアップロードします。

画像データは、出願前3か月以内に撮影したもので、上半身、無帽、無背景、正面向きのものとしてください。

(3) 入学検定料

17,000円 (入学検定料のほかに手数料が必要です)

出願登録時に選択した支払方法により入学検定料の支払手続を行ってください。

なお、受領した入学検定料の返還は行いません。

(4) 自己推薦書及び特別活動に関する報告書の申請登録について

自己推薦書及び特別活動に関する報告書の申請登録は、上記(2)の出願登録を終え、入学検定料の支払完了後に申請登録が可能になります。入学検定料支払後、インターネット出願サイトと連動した専用サイト「書類申請システム (J-Bridge System)」にアクセスし、所定の項目を入力してください。 **提出する** ボタンをクリックすると、申請登録が完了となりますので、登録した内容を印刷し、他の出願書類と併せて提出してください。なお、申請登録が完了すると入力・修正・削除ができなくなりますのでご注意ください。

申請項目については、「4 自己推薦書及び特別活動に関する報告書の登録要領について」(4ページ)を参照してください。また、登録手順については、「書類申請システム登録手順マニュアル」(本学ホームページに掲載)を参照してください。

(5) 出願書類

	出願書類	摘 要
A	調 査 書	<p>文部科学省指定の様式により高等学校長が作成し、厳封してください。</p> <p>※A 4サイズで片面印刷してください。複数枚になる場合は、ホッチキス等で綴じずに厳封の上、提出してください。</p>
B	ポ ス タ ー	<p>「5 ポスター作成要領」に基づき、第2次選考（面接）で使用するポスター（電子ファイル）を作成し、市販のCD-R、DVD-RまたはUSBメモリに保存して提出してください。</p> <p>また確認のため、A 4サイズで片面・カラー印刷したものを併せて提出してください。</p>
<p>以下の書類については、入学検定料支払い後、インターネット出願サイト内の『出願内容一覧』からダウンロードし、印刷してください。</p> <p>G「自己推薦書」及びH「特別活動に関する報告書」は、『出願内容一覧』の「出願内容の照会」ページから「書類申請システム（J-Bridge System）」にアクセスし、登録・印刷してください。</p> <p>※書類はすべてA 4サイズで片面・カラー印刷してください。</p> <p>※出願書類の印刷等については、「令和6年度インターネット出願ガイド」（本学ホームページに掲載）を参照してください。</p>		
C	入 学 志 願 票	印刷した「入学志願票」を提出してください。
D	第 1 次 選 考 結 果 通 知 書 ・ 写 真 票	<p>印刷した「第1次選考結果通知書・写真票」を提出してください。</p> <p>※第1次選考結果通知書・写真票は切り離さないでください。</p>
E	送 付 用 宛 名 シ ー ト	<p>印刷した「送付用宛名シート」を点線に沿って切り取り、市販の封筒（長形3号）に344円分の郵便切手（定型速達）と併せて貼り付けてください。</p> <p>※本学が第1次選考結果通知書を送付する際に使用します。</p>
F	出 願 用 宛 名 シ ー ト	<p>印刷した「出願用宛名シート」を点線に沿って切り取り、市販の封筒（角形2号）に貼り付けてください。</p> <p>※出願書類を提出する際に使用してください。</p>
G	自 己 推 薦 書	<p>「書類申請システム（J-Bridge System）」にアクセスし、所定の項目を登録し、印刷したものを提出してください。</p>
H	特 別 活 動 に 関 する 報 告 書	

(6) 出願書類の提出

上記(5)出願書類は、F出願用宛名シートを貼った封筒に一括して入れて、出願期間内に到着するように郵送（書留速達郵便）または持参してください。

（提出先） 福島県立医科大学 教育研修支援課入試係（5号館2階）

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 電話 024-547-1093（直通）

(7) 出願上の注意事項

- ① 他の国公立大学・学部の総合型選抜及び学校推薦型選抜との併願は認められません。ただし、本学医学部の学校推薦型選抜との併願は可能です。

- ② 本学医学部の学校推薦型選抜と併願している受験者については、総合型選抜での選抜を優先し、総合型選抜で不合格となった受験者のみ、学校推薦型選抜での選抜の対象とします。
- ③ 出願書類に記載すべき事項のもれ、その他不備のある場合は受付できません。
- ④ 入学検定料の支払完了後は出願事項の変更は認めません。ただし、住所、氏名、電話番号に変更があった場合には、上記(6)の提出先までご連絡ください。
- ⑤ 出願書類に虚偽の記載があった場合、または内容に相違あることが判明した場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 受理した出願書類は、理由のいかんを問わず返還しません。

(8) 受験票の印刷

出願期間終了後、本学で書類の確認、受験番号の付番を行います。受験票は、令和5年10月3日(火)午前10時より、インターネット出願サイトの『出願内容一覧』からダウンロードが可能となりますので、**各自受験票をカラー印刷**し、記載内容を確認の上、試験当日に持参してください。指定日を過ぎても受験票がダウンロードできない場合は、以下の問い合わせ先まで連絡してください。

なお、受験票の取得方法等詳細については、「令和6年度入試インターネット出願ガイド」を確認してください。

(問い合わせ先) 福島県立医科大学 教育研修支援課入試係 電話 024-547-1093 (直通)

4 自己推薦書及び特別活動に関する報告書の登録要領について

自己推薦書及び特別活動に関する報告書は、インターネット出願サイトと連動した専用サイト「書類申請システム (J-Bridge System)」にアクセスし、以下の項目について入力してください。

なお、登録手順については、「書類申請システム登録手順マニュアル」を参照してください。

(1) 自己推薦書登録要領

自らが本学のアドミッションポリシーに合致し、総合型選抜で求められる学生像であるとする理由について、これまでの活動報告を踏まえてアピールしてください。また、入学後に学びたい内容、卒業後を見据えた目標等についても入力してください。(1,400字以内)

(2) 特別活動に関する報告書登録要領

自らが本学のアドミッションポリシーに合致し、総合型選抜で求められる学生像であることを示す活動のうち、最も評価できると思われるもの1件について、できるだけ具体的に入力してください。

なお、申請できる活動・実績は、高等学校入学以降（あるいは中学校卒業以降）のものとなります。

【入力項目】

ア 活動・実績の名称 (活動内容タイトル)

申請する活動・実績の名称を入力してください。部活動の大会実績など同じ種類の実績が複数ある場合は1つにまとめてください。

例) : ○○大会○○賞受賞、○○ボランティア活動、○○に関する自主的な取り組み等

イ 活動・実績のカテゴリー (申請カテゴリー)

活動・実績は以下のカテゴリーに分類し、入力してください。

A) リーダーシップ・社会貢献に関するもの

(生徒会などの学生コミュニティ運営、学外でのボランティア、就業経験・家業、起業等)

B) 科学的探究心に関するもの

(国際的に評価される研究活動、全国規模の科学コンクール、地方学会での表彰等)

C) その他

(高度なスキルを生かした活動など)

- ウ 活動実績等の主催、認定、授与、発行等の機関等の名称
活動・実績の主催、認定、授与、発行等の機関等の名称を入力してください。
- エ 活動期間・実績取得年月
該当する活動期間または実績取得年月を入力してください。
- オ 活動実績を証明する資料および参考資料等
資格取得等を証明する資料、諸活動の経歴や成果等を証明する参考資料がある場合は登録してください。また、これらの資料についての簡単な説明文も登録してください。
なお、登録可能な資料（説明文を含む）は3つまで、資料ファイルの上限は1ファイルあたり10MB までです。
例) 発表会要旨集、開催要領、論文、新聞・雑誌等に掲載された記事、研究ノート、コンクール参加証、検定合格証、活動参加証 等
<ファイルの種類：登録可能な拡張子>
pdf、pptx
※動画を提出する場合は、Powerpoint の資料に動画ファイルを挿入してください。
※指定のファイル（pdf、pptx）以外の登録は避けてください。
※ Office2003以前の拡張子（ppt）は登録できません。
- カ 活動・実績の内容
申請する活動実績等について具体的に入力してください（規模、参加資格、入賞条件、課題研究の成果など客観的に評価できる情報などがあれば可能な限り入力してください）。グループ活動での実績については、グループ内であなたが果たした役割を具体的に入力してください。（1,000字程度）
- キ 活動内容を照会できる個人または機関等の連絡先
あなたの活動について大学から問い合わせを行うことがあります。活動内容を照会できる個人または機関等の名称・氏名・連絡先（電話番号）を入力してください（資格取得等の場合は不要です）。
例1) 研究活動を指導してくれた教員の場合：
○○大学△△学部、□□ □□先生、連絡先○○○-○○○○
例2) 参加したボランティア団体の場合：
社会福祉法人○○○、担当□□ □□、連絡先○○○-○○○○

5 ポスター作成要領

第2次選考で行う面接の1室において、ポスターを用いたプレゼンテーションを行います。以下の要領を基にポスターを作成してください。

課 題	
①	<p>【自身が行った科学的研究がある場合】 上記4(2)「イ 活動・実績のカテゴリー」において、「B) 科学的探究心に関するもの」を選択した方は、その研究成果について、ポスター1枚にわかりやすくまとめてください。 また、「B) 科学的探究心に関するもの」以外を選択した方でも科学的な活動実績がある場合は、その研究成果について、ポスター1枚にわかりやすくまとめてください。</p>
②	<p>【自身が行った科学的研究がない場合】 自身が行った科学的研究がない方は、これまであなたが興味を持った科学的研究（歴史的発見や発明など）について調べて、ポスター1枚にわかりやすくまとめてください。</p>

仕 様
<サイズ> 縦1,189mm×横841mm (A0サイズ、縦置き) <ファイルの種類：登録可能な拡張子> PDF <その他> 色、文字の大きさ、及び写真等の貼付け等は自由とします。
プレゼンテーションの流れ
課題①または②について、出願時のポスターを用い、4分程度で発表してください。その後、面接官との質疑応答を行います。発表及び質疑応答では、手持ち資料等を持ち込むことはできません（提出したポスターのみを用いてください）。 なお、発表の際に使用するポスターは、本学においてA0サイズに印刷したものを使用します。

6 健康上、配慮を必要とする入学志願者の事前協議

障がいや慢性疾患等を持つ入学志願者で、受験または修学上配慮を必要とする者は、あらかじめ本学に申し出て、必要な場合には協議してください。なお、障がいの程度により必ずしも希望する内容が配慮されるとは限りません。

① 協議の時期 令和5年9月1日(金)必着

② 協議の方法

ア 協議申請書（様式任意）に、健康診断書等必要書類を添付して提出してください。

イ 必要に応じ、本学において志願者またはその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談等を行います。

③ 連絡先

福島県立医科大学 教育研修支援課入試係（5号館2階）

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 電話 024-547-1093（直通）

（参考）これまでの配慮内容一覧

- 座席を前列に指定
- 試験室をトイレ近くに設定
- 別室受験
- 試験室までの付添者の同伴
- 1階またはエレベーターが利用可能な試験室の設定 等

7 健康診断書の提出等

医師法第4条の規定に該当するおそれがある場合には、健康診断書の提出を求めることがあります。

8 入学者選抜方法

入学者の選抜は、次により2段階に分けて行います。

(1) 第1次選考

第1次選考は、総合問題の合計得点順に募集人員の3倍程度を合格者とします。

(注1) 総合問題Ⅰは、主として理数系の基礎的知識（大学において医学教育を受けるのに必要な基礎知識）に加えて、論理的な思考力を問う記述試験で、英文による出題を含みます。

総合問題Ⅱは、主として論理的かつ多面的な思考力、表現力を問う記述試験です。

(注2) 大学入学共通テストは課しません。

① 配 点

総合問題Ⅰ	総合問題Ⅱ	合 計
400点	200点	600点

(2) 第2次選考

第2次選考は、第1次選考の合格者に対し、MMI（Multiple Mini Interview）の手法を取り入れた面接を実施します。また、面接に加え、出願書類（自己推薦書、特別活動に関する報告書）、総合問題の結果を総合的に評価して行います。

① 面接方法の概略

受験者は、評価項目別の6つの面接室（志願理由、主体性・能動性・リーダーシップ、科学的探究心、倫理観、思考力・判断力・表現力、コミュニケーション力）を巡り、それぞれ独立して審査を受けます。（1面接室あたり10分程度）

また、そのうち1室（科学的探究心）において、ポスターを用いたプレゼンテーションを行います。ポスターは、「5 ポスター作成要領」により作成の上、出願時に提出してください。

② 配 点

面 接	出 願 書 類	総 合 問 題	合 計
300点	150点	600点	1,050点

(注1) 調査書は、出願書類（自己推薦書、特別活動に関する報告書）及び面接の参考資料として活用します。

(注2) 総合問題の得点は、第1次選考で実施した筆記試験の成績を用います。

9 試験時間等

(1) 試験実施期日・試験場

① 第1次選考

期 日	教 科 等	時 間
令和5年10月21日(土)	受付開始時刻	8:00
	受験者着席時刻	9:10
	総合問題Ⅰ	9:30~12:00
	総合問題Ⅱ	13:00~15:30

【試験場】

福島県立医科大学光が丘キャンパス 6号館（福島県福島市光が丘1番地）

※試験場の所在は、「大学案内」（本学ホームページに掲載）を参照してください。

② 第2次選考

令和5年11月18日(土)

※第2次選考の受付時間、試験場等の詳細は、第1次選考合格者にのみ別途通知します。

(2) 試験当日の留意事項

第1次選考に関する試験当日の留意事項は以下のとおりです。

第2次選考に関する試験当日の留意事項等は、第1次選考合格者にのみ別途通知します。

- ① 試験場へは公共交通機関をご利用ください（受験者用の駐車場は設けておりません）。
- ② 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- ③ 本学受験票を必ず持参し、試験場に入場する際、係員に提示してください。
- ④ 筆記用具及び昼食を持参してください（売店・食堂は当日閉店しています）。
- ⑤ 試験場入口に掲示してある注意・連絡事項等を確認してください。
- ⑥ 上履きは必要ありません。

10 受験上の注意事項

- (1) 試験中は監督者の指示に従ってください。
- (2) 試験時間中の退室は認めません。体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合は、挙手をして監督者の指示に従ってください。
- (3) 試験時間中に使用できるもの
試験時間中に使用できるもの（机の上に置けるもの）は以下のとおりです。

使用できるもの	留意事項
本学受験票	机の受験番号札の下に置いてください。
黒鉛筆（鉛筆キャップ可） シャープペンシル（黒い芯に限る）、消しゴム	商標等が印刷された鉛筆、シャープペンシル及び消しゴムは使用を認めますが、和歌・格言等が印刷されているもの、定規の機能を備えた鉛筆等は使用できません。
鉛筆削り（小型）	電動式・大型のもの・ナイフ類は使用できません。
計時機能のみの時計（小型）	辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判断しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・ストップウォッチ・大型のものは使用できません。
目薬、ハンカチ、 ティッシュペーパー	ティッシュペーパーは、袋または箱から中身だけ取り出してください。
座布団、ひざ掛け（コート類をひざ掛けとして使用する場合を含む）	使用を希望する者は、監督者に申し出て許可を得てから使用してください。
薬等	試験時間中に薬等の服用が必要な場合は、「 6 健康上、配慮を必要とする入学志願者の事前協議 」により、申請の手続きを行ってください。

これ以外の物品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。

(4) 試験時間中に使用できないもの

上記(3)の「試験時間中に使用できるもの」以外の物品は、試験時間中に使用することはできません。かばん等にしまわず、机上（物入れ）に置いたり、身に付けていたり、手に持っているとならざる不正行為となることがあります。

「試験時間中に使用できないもの」の一例は以下のとおりです。

使用できないもの（主なもの）	留意事項
情報端末、通信機能のある機器 例) 携帯電話、スマートフォン、 タブレット、スマートウォッチ等のウェアラブル端末	試験室に入室する前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切り、かばん等の中に入れ、身に付けないようにしてください。 なお、試験時間中にかばん等の中で着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
音の出る機能があるもの	
定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、分度器、電卓、そろばん、下敷き、筆入れ、シャープペンシルの芯入れ（ケース）	試験時間中は使用できませんので、かばん等の中に入れ、身に付けないようにしてください。
耳せん	監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。
イヤホン	試験時間中は使用できませんので、かばん等の中に入れ、身に付けないようにしてください。
文字や地図等がプリントされている上着等（ひざ掛け、ハンカチを含む）	着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
飲食物	試験時間中は、試験室内での飲食はできません。

11 不正行為

- (1) 次の不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を命じられ、それ以後の受験は認められず失格となります。また、受験した全ての教科・科目の成績は無効となります。
なお、不正行為については、警察に被害届を提出する場合があります。

<p>a) 志願票、受験票・写真票、解答用紙へ故意に虚偽の記入（志願票、受験票・写真票に本人以外の写真を使用することや、解答用紙に本人以外の受験番号を記入するなど）をすること。</p> <p>b) カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。</p> <p>c) 他の受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。</p> <p>d) 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。</p> <p>e) 解答用紙を試験室から持ち出すこと。</p> <p>f) 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めること。</p> <p>g) 試験時間中に、定規、コンパス、分度器、電卓、そろばん等の補助具を使用すること。</p> <p>h) 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等のウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。</p> <p>i) 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて、問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。</p>
--

- (2) 上記(1)以外にも、次の行為を行うと不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と見なされた場合の取扱いは、上記(1)と同様です。

- a) 試験時間中に、定規、コンパス、分度器、電卓、そろばん等の補助具や携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチ等のウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類、教科書、参考書、辞書等の書籍類をかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っていること。
- b) 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- c) 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
- d) 試験場において、他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- e) 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
- f) その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12 合格者発表

(1) 第1次選考合格者発表

第1次選考の合格者は、次の方法で受験番号を発表するとともに、受験者全員に郵送により結果を通知します。

なお、入学者選抜の可否に関する電話等による問い合わせには応じません。

- ① 「第1次選考合格者受験番号一覧表」の掲示による発表
次の日時、掲示場所に合格者の受験番号を掲示します。
〈掲示日時〉令和5年11月2日(木) 午前10時頃
〈掲示場所〉本学5号館玄関前（雨天等の場合は5号館1階エントランスホール）
- ② ホームページ掲載による参考発表
本学のホームページに合格者の受験番号を参考までに掲載します。
《参考》本学のホームページアドレス <https://www.fmu.ac.jp/>

(2) 合格者発表

総合型選抜の合格者は、次の方法で受験番号を発表するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続き書類等を送付します。

なお、入学者選抜の可否に関する電話等による問い合わせには応じません。

- ① 「合格者受験番号一覧表」の掲示による発表
次の日時、掲示場所に合格者の受験番号を掲示します。
〈掲示日時〉令和5年11月24日(金) 午前10時頃
〈掲示場所〉本学5号館玄関前（雨天等の場合は5号館1階エントランスホール）
- ② ホームページ掲載による参考発表
本学のホームページに合格者の受験番号を参考までに掲載します。
《参考》本学のホームページアドレス <https://www.fmu.ac.jp/>

13 入学手続

入学手続の受付等は下記により行います。

(1) 受付

- 期間 令和5年11月24日(金)から12月1日(金)まで（土曜日、日曜日を除く）
- 時間 午前9時～午後5時
- 場所 福島県立医科大学 教育研修支援課学生総務係（5号館1階）
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 電話 024-547-1972（直通）

(2) 提出書類

入学手続は、下記の必要書類等を上記受付場所へ持参または「書留速達郵便」(12月1日(金)まで【必着】)により郵送で行ってください。

① 本学受験票

② 住民票(※該当者のみ)

「福島の住民」に該当する者(「大学案内」参照)は、本人及び家族の住民票を提出してください。これに該当しない者については、提出の必要はありません。

③ 入学手続時の納付金

「大学案内」を参照してください。

合格通知書送付時に同封される所定の様式により、指定の金融機関口座へ払込んでください。

(3) 注意事項

① 総合型選抜に合格し入学手続を完了した者は、本学及び他の国公立大学・学部(独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く)の一般選抜(前期日程・中期日程・後期日程)及び本学の学校推薦型選抜を受験しても合格判定の対象とはなりません。

② 合格者が入学手続完了後、当該高等学校を卒業できない場合は、入学を取り消します。

③ 合格者の入学辞退は認めません。ただし、合格後において特別な事情が生じ、入学辞退願が提出され、本学が許可した場合はこの限りではありません(「14 入学辞退」を参照)。

④ 受理した入学手続書類及び入学料は返還しません。

⑤ 提出書類等の記載事項に虚偽の記載があった場合は、入学を取り消すことがあります。

14 入学辞退

総合型選抜の合格者で、特別の事情により入学辞退を希望する場合は、合格者本人が署名・押印した総合型選抜入学辞退願(様式任意)にその理由を記載して、令和5年12月1日(金)までに、本学学長宛に提出してください。本学学長が、総合型選抜入学辞退願により相当の理由であると認めた場合は、入学辞退を許可する場合があります。

なお、総合型選抜入学辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部を受験しても入学許可は得られません。

15 学校推薦型選抜及び一般選抜への出願

本学の総合型選抜に不合格となった場合に備えて、国公立大学の前期日程、後期日程、公立大学中期日程からそれぞれ1校、合計3校まで出願することができます(ただし、大学入学共通テストの受験を要する教科・科目については、出願する大学・学部の指定するところによります)。

また、本学医学部が実施する学校推薦型選抜に限り、併願することができます。ただし、本学医学部の学校推薦型選抜と併願している受験者については、総合型選抜での選抜を優先し、総合型選抜で不合格となった受験者のみ、学校推薦型選抜での選抜の対象とします。

なお、本学の学校推薦型選抜及び一般選抜(前期日程)に出願する場合は、別途該当する入学願書等を提出する必要があります。

16 入学試験結果の提供

令和6年度入学者選抜試験結果について、受験者本人の申出により閲覧ができます。

(1) 受付方法

受験者本人が本学受験票を下記提供窓口へ提示してください。

(2) 提供内容

- 入学願書(調査書を除く)

- 総合型選抜試験成績の科目別点数、合計点数
- 面接成績
- 合否判定基準
- 合否判定結果

(3) 受付期間、受付時間

令和6年4月16日(火)から5月15日(水)の午前9時から午後5時までの間（土曜日、日曜日、祝日を除く）

(4) 提供窓口、提供場所

福島県立医科大学 教育研修支援課入試係（5号館2階）

17 個人情報の取扱について

個人情報の取扱については、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、以下のとおり行います。

- (1) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法等の検討資料の作成のために利用します。
- (3) 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、受験者の氏名、高等学校コード及び大学入学共通テストの受験番号に限って、合否及び入学手続等に関する情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
- (4) 出願に当たって知り得た個人情報、入学試験成績は、入学者についてのみ、①教務関係、②学生支援関係（授業料免除・修学資金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (5) 出願に当たって知り得た氏名、住所は、入学手続を完了した者についてのみ、本学同窓会及び後援会からの連絡に使用します。

18 その他

受験に際して宿泊の斡旋は行いませんので、宿泊を希望する者は各自旅館等へ直接申し込んでください。

福島市旅館ホテル協同組合

〒960-8044 福島県福島市早稲町7-9

電話 024-522-9528（午前10時から午後4時まで）

URL（ホームページアドレス） <https://www.fukushima-yado.com>

令和7年度入学者選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目について（予告）

本学医学部、看護学部及び保健科学部では、平成30年に告示され、令和4年度から導入された新学習指導要領による、令和7年度大学入学共通テストの利用教科・科目について、次のとおりとします。

なお、学部ごとの個別学力検査の実施教科・科目については、決定次第、改めて公表します。

1 医学部医学科

【一般選抜（前期）、学校推薦型選抜】

教 科	科 目	
国 語	『国語』（必須）	
地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』のうちから1科目選択	
数 学	『数学Ⅰ、数学A』（必須）	
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』（必須）	
理 科	『物理』、『化学』、『生物』のうちから2科目選択	
外 国 語	『英語』（必須） ※リスニングによる成績も利用する	
情 報	『情報Ⅰ』（必須）	
<p>(注1) 地理歴史及び公民について、2科目を受験した場合、第1解答科目を採用します。</p> <p>(注2) 『英語』リスニングについて、大学入試センターの受験上の配慮事項により受験が免除された場合は、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>(注3) 「数学A」については、図形の性質、場合の数と確率の2項目全てを解答してください。</p> <p>(注4) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。</p> <p>(注5) 旧教育課程履修者に対する経過措置として新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。</p>		
○旧教育課程履修者が選択できる経過措置科目		
教 科	グループ	科 目
地理歴史 公 民		『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧倫理、旧政治・経済』のうちから1科目選択
数 学	①	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	②	『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』のうちから1科目選択
情 報		『旧情報（仮）』

2 看護学部看護学科

【一般選抜（前期・後期）】

教 科	科 目
国 語	『国語』（必須）
地理歴史 公 民	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』のうちから1科目選択
数 学	『数学Ⅰ、数学A』（必須）
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』（必須）
理 科	① 『物理』、『化学』、『生物』のうちから2科目選択ないしは ② 『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』の「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」のうちから2科目選択及び『物理』『化学』『生物』のうちから1科目選択 ただし、同一名称を含む科目の組み合わせ（例えば「生物基礎」と『生物』のような組み合わせ）は選択できない。
外 国 語	『英語』（必須）
情 報	『情報Ⅰ』（必須）

（注1）『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校指導要領上設定されている科目を表します。

（注2）地理歴史及び公民について、2科目を受験した場合、第1解答科目を採用します。

（注3）『英語』はリスニングを含みます。ただし、大学入試センターの受験上の配慮事項により受験が免除された場合は、リーディングの成績のみを利用します。

（注4）「数学A」については、図形の性質、場合の数と確率の2項目全てを解答してください。

（注5）数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。

（注6）旧教育課程履修者に対する経過措置として新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。

○旧教育課程履修者が選択できる経過措置科目

教 科	グループ	科 目
地理歴史 公 民		『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』のうちから1科目選択
数 学	①	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	②	『旧数学Ⅱ・旧数学B』
情 報		『旧情報（仮）』

3 保健科学部理学療法学科

【一般選抜（前期）】

教 科	科 目	
国 語	『国語』（必須）	
地理歴史 公 民 (注1)	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探 究』、『公共、倫理』、『公共、政治・ 経済』	地理歴史及び公民、情報のうちから 1科目選択（注2）
情 報	『情報Ⅰ』	
数 学	『数学Ⅰ、数学A』（必須）	
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』（必須）	
理 科	『物理』、『化学』、『生物』のうちから2科目選択	
外 国 語	『英語』（必須） ※リスニングの成績も利用します。（注3）	
<p>(注1) 地理歴史及び公民について、指定する科目数を超えて受験した場合、第1解答科目を採用します。</p> <p>(注2) 指定する教科・科目数を超えて受験した場合は、指定した範囲内で高得点の科目を採用します。</p> <p>(注3) 『英語』リスニングについて、大学入試センターの受験上の配慮事項により受験が免除された場合は、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>(注4) 「数学A」については、図形の性質、場合の数と確率の2項目全てを解答してください。</p> <p>(注5) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。</p> <p>(注6) 旧教育課程履修者に対する経過措置として新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。</p> <p>○旧教育課程履修者が選択できる経過措置科目</p>		
教 科	グループ	科 目
地理歴史 公 民		『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』
数 学	①	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	②	『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』
情 報		『旧情報（仮）』

4 保健科学部作業療法学科

【一般選抜（前期）】

教 科	科 目		
国 語	『国語』（必須）		
理 科 (注1)	① 『物理』、『化学』、『生物』のうちから2科目選択 ② 『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』の「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」のうちから2科目選択、及び『物理』、『化学』、『生物』のうちから1科目選択 ③ 『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』の「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」のうちから2科目選択 ④ 『物理』、『化学』、『生物』のうちから1科目選択	①～④のいずれかを選択 理科で③と④を選択した場合、地理歴史及び公民または情報のうちから1科目選択（注3）	
地理歴史 公 民 (注2)	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』		
情 報	『情報Ⅰ』		
数 学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』のうちから1科目選択		
外 国 語	『英語』（必須） ※リスニングの成績も利用します。（注4）		
<p>(注1) 『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校指導要領上設定されている科目を表します。</p> <p>(注2) 地理歴史及び公民については、第1解答科目を採用します。</p> <p>(注3) 理科、地理歴史及び公民、情報の選択において、指定した科目数を超えて受験した場合、採用する科目は、以下のとおりとする。 理科の基礎を付した科目2科目、理科の基礎を付していない科目1科目、地理歴史及び公民、情報を受験した場合は、㊶理科の基礎を付した科目2科目、㊷理科の基礎を付していない科目1科目、㊸地理歴史及び公民、情報のうちから得点の高い順に採用します。 理科の基礎を付していない科目2科目、地理歴史及び公民、情報を受験した場合は、理科の第1解答科目を採用するとともに、理科の第2解答科目、地理歴史及び公民、情報のうちから得点の高い科目を採用します。</p> <p>(注4) 『英語』リスニングについて、大学入試センターの受験上の配慮事項により受験が免除された場合は、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>(注5) 「数学A」については、図形の性質、場合の数と確率の2項目全てを解答してください。</p> <p>(注6) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。</p> <p>(注7) 旧教育課程履修者に対する経過措置として新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。</p> <p>○旧教育課程履修者が選択できる経過措置科目</p>			
教 科	科 目		
地理歴史 公 民	『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』、『旧倫理、旧政治・経済』		
数 学	『旧数学Ⅰ・旧数学A』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』		
情 報	『旧情報（仮）』		

5 保健科学部診療放射線科学科

【一般選抜（前期）】

教 科	科 目	
国 語	『国語』（必須）	
地理歴史 公 民 (注1)	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探 究』、『公共、倫理』、『公共、政治・ 経済』	地理歴史及び公民、情報のうちから 1科目選択（注2）
情 報	『情報Ⅰ』	
数 学	『数学Ⅰ、数学A』（必須）	
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』（必須）	
理 科	『物理』、『化学』、『生物』、『地学』のうちから2科目選択	
外 国 語	『英語』（必須） ※リスニングの成績も利用します。（注3）	
<p>(注1) 地理歴史及び公民について、指定する科目数を超えて受験した場合、第1解答科目を採用します。</p> <p>(注2) 指定する教科・科目数を超えて受験した場合は、指定した範囲内で高得点の科目を採用します。</p> <p>(注3) 『英語』リスニングについて、大学入試センターの受験上の配慮事項により受験が免除された場合は、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>(注4) 「数学A」については、図形の性質、場合の数と確率の2項目全てを解答してください。</p> <p>(注5) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。</p> <p>(注6) 旧教育課程履修者に対する経過措置として新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。</p>		
○旧教育課程履修者が選択できる経過措置科目		
教 科	グループ	科 目
地理歴史 公 民		『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』
数 学	①	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	②	『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』
情 報		『旧情報（仮）』

6 保健科学部臨床検査学科

【一般選抜（前期）】

教 科	科 目	
国 語	『国語』（必須）	
地理歴史 公 民 (注1)	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、 日本史探究』、『歴史総合、世界史探 究』、『公共、倫理』、『公共、政治・ 経済』	地理歴史及び公民、情報のうちから 1科目選択（注2）
情 報	『情報Ⅰ』	
数 学	『数学Ⅰ、数学A』（必須）	
	『数学Ⅱ、数学B、数学C』（必須）	
理 科	『物理』、『化学』、『生物』のうちから2科目選択	
外 国 語	『英語』（必須） ※リスニングの成績も利用します。（注3）	
<p>(注1) 地理歴史及び公民について、指定する科目数を超えて受験した場合、第1解答科目を採用します。</p> <p>(注2) 指定する教科・科目数を超えて受験した場合は、指定した範囲内で高得点の科目を採用します。</p> <p>(注3) 『英語』リスニングについて、大学入試センターの受験上の配慮事項により受験が免除された場合は、リーディングの成績のみを利用します。</p> <p>(注4) 「数学A」については、図形の性質、場合の数と確率の2項目全てを解答してください。</p> <p>(注5) 数学の科目において、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の2項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の2項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち3項目の内容の問題を選択解答してください。</p> <p>(注6) 旧教育課程履修者に対する経過措置として新教育課程による出題科目・科目選択の方法に加え、旧教育課程から出題される科目を選択することができます。なお、新教育課程履修者は、旧教育課程から出題される科目を選択解答することはできません。</p> <p>○旧教育課程履修者が選択できる経過措置科目</p>		
教 科	グループ	科 目
地理歴史 公 民		『旧世界史B』、『旧日本史B』、『旧地理B』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』
数 学	①	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	②	『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』
情 報		『旧情報（仮）』

令和7年度入学者選抜における個別学力検査の実施教科・科目等について（予告）

本学では、平成30年に告示され、令和4年度から導入された新学習指導要領の実施に伴い、医学部の一般選抜及び私費外国人留学生選抜、保健科学部の一般選抜で課す個別学力検査の実施教科・科目等について次のとおりとします。

なお、看護学部については、一般選抜で課す個別学力検査の実施教科・科目等の変更はありません。

1 医学部医学科

①【一般選抜（前期）】

教 科	科 目
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C
理 科	『物理基礎・物理』、『化学基礎・化学』、『生物基礎・生物』のうちから2科目選択
外 国 語	『英語』（「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」）
<p>(注1) 数学の出題範囲は、以下のとおりです。 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Aは全範囲から出題します。 数学Bは「数列」、「統計的な推測」から、数学Cは、「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。</p> <p>(注2) 理科については、『 』内記載のものを1出題科目とします。また、出題範囲は、次のとおりとします。 『物理基礎・物理』は物理基礎、物理の全範囲から出題します。 『化学基礎・化学』は化学基礎、化学の全範囲から出題します。 『生物基礎・生物』は生物基礎、生物の全範囲から出題します。</p> <p>(注3) 外国語は、リスニングは実施しません。</p> <p>(注4) 旧教育課程履修者については、不利益が生じないように配慮します。</p>	

②【私費外国人留学生選抜】

教 科	科 目
数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C
理 科	『物理基礎・物理』、『化学基礎・化学』、『生物基礎・生物』のうちから2科目選択
外 国 語	『英語』（「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」）
<p>(注1) 数学の出題範囲は、以下のとおりです。 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Aは全範囲から出題します。 数学Bは「数列」、「統計的な推測」から、数学Cは、「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。</p> <p>(注2) 理科については、『 』内記載のものを1出題科目とします。また、出題範囲は、次のとおりとします。 『物理基礎・物理』は物理基礎、物理の全範囲から出題します。 『化学基礎・化学』は化学基礎、化学の全範囲から出題します。 『生物基礎・生物』は生物基礎、生物の全範囲から出題します。</p> <p>(注3) 外国語は、リスニングは実施しません。</p>	

2 保健科学部

【一般選抜（前期）】

学 科	教 科	科 目
理学療法学科	教科・科目等による試験は実施しません。	
作業療法学科	小論文	
診療放射線科学科	数 学 (注1)	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C
	理 科 (注2)	『物理基礎・物理』、『化学基礎・化学』、『生物基礎・生物』のうちから1科目選択
	外国語 (注3)	『英語』（「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」）
臨床検査学科	理 科 (注2)	『物理基礎・物理』、『化学基礎・化学』、『生物基礎・生物』のうちから2科目選択
	外国語 (注3)	『英語』（「英語コミュニケーションⅠ」、「英語コミュニケーションⅡ」、「英語コミュニケーションⅢ」、「論理・表現Ⅰ」、「論理・表現Ⅱ」、「論理・表現Ⅲ」）
<p>(注1) 数学の出題範囲は、以下のとおりです。 数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Aは全範囲から出題します。 数学Bは「数列」、「統計的な推測」から、数学Cは、「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。</p> <p>(注2) 理科については、『 』内記載のものを1出題科目とします。また、出題範囲は、次のとおりとします。 『物理基礎・物理』は物理基礎、物理の全範囲から出題します。 『化学基礎・化学』は化学基礎、化学の全範囲から出題します。 『生物基礎・生物』は生物基礎、生物の全範囲から出題します。</p> <p>(注3) 外国語は、リスニングは実施しません。</p> <p>(注4) 旧教育課程履修者については、不利益が生じないように配慮します。</p>		

※ 上記の4学科では、面接を実施します。

令和7年度入学者選抜における大学入学共通テスト、個別学力検査等の配点について（予告）

本学では、令和7年度入学者選抜における大学入学共通テストの利用教科・科目、個別学力検査の実施教科・科目等について、令和5年1月及び2月に公表したところです。

このたび、配点等について、決定しましたので次のとおり公表します。

1 医学部医学科

(1) 学校推薦型選抜

学校推薦型選抜の大学入学共通テスト、総合問題、面接の配点は以下のとおりとします。

大学入学共通テスト						総合問題	面接	合計
国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報			
100点	50点	100点	100点	100点	50点	300点	60点	860点

(注1) 外国語の配点は、リーディング（100点満点）を（60点満点）、リスニング（100点満点）を（40点満点）に圧縮し、100点満点とします。

(注2) 大学入試センターの受験上の配慮事項により『英語』のリスニングが免除された場合は、『英語』のリーディングの点数をそのまま利用します。

(注3) 推薦書、調査書、志願理由書は面接の参考資料として活用します。

(2) 一般選抜

1) 第1段階選抜

第1段階選抜に用いる大学入学共通テストの配点は以下のとおりとします。

大学入学共通テスト						合計
国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	
200点	100点	200点	200点	200点	100点	1,000点

(注1) 外国語の配点は、リーディング（100点満点）を（120点満点）、リスニング（100点満点）を（80点満点）に換算し、200点満点とします。

(注2) 大学入試センターの受験上の配慮事項により『英語』のリスニングが免除された場合は、『英語』のリーディングの得点に200/100を乗じた点数を得点とします。

2) 第2段階選抜

第2段階選抜における、大学入学共通テスト、個別学力検査、面接の配点は、以下のとおりとします。

大学入学共通テスト						個別学力検査			面接	合計
国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語	情報	数学	理科	外国語		
150点	50点	150点	150点	150点	50点	200点	200点	200点	60点	1,360点

(注1) 大学入学共通テストの外国語の配点は、リーディング(100点満点)を(90点満点)、リスニング(100点満点)を(60点満点)に圧縮し、150点満点とします。

(注2) 大学入試センターの受験上の配慮事項により『英語』のリスニングが免除された場合は、『英語』のリーディングの得点に150/100を乗じた点数を得点とします。

(注3) 調査書は面接の参考資料として活用します。

2 看護学部

一般選抜(前期日程・後期日程)

大学入学共通テスト、総合問題の配点は、以下のとおりとします。

大学入学共通テスト							個別学力検査		合計	
国語	数学		地理歴史 公民	理科	外国語		情報	総合 問題 I		総合 問題 II
	数学 I 数学 A	数学 II 数学 B 数学 C	1科目 選択	2科目 または 3科目 選択	リーディング	リスニング				
100点	50点	50点	50点	100点	75点	50点	50点	200点	100点	825点

(注1) 大学入学共通テストの外国語の配点は、リーディング(100点満点)を(75点満点)、リスニング(100点満点)を(50点満点)に圧縮し、125点満点とします。ただし、大学入試センターの受験上の配慮事項により『英語』のリスニングが免除された場合は、『英語』のリーディングの得点に125/100を乗じた点数を得点とします。

(注2) 総合問題は、提示した素材により読解力、思考力、表現力や保健・医療・福祉に関する諸問題への関心を総合的に問う記述試験で、英文による出題を含みます。

(注3) 面接試験の結果は総合判定に用います。調査書は面接の参考資料とし、点数化はしません。

3 保健科学部

(1) 一般選抜

1) 第1段階選抜

第1段階選抜に用いる大学入学共通テストの配点は以下のとおりとします。

学 科	大学入学共通テスト						計
	国 語	地理歴史 公 民	情報	理科	数学	外国語	
理学療法学科	200点	100点		200点	200点	200点	900点
作業療法学科	100点	200点			100点	100点	500点
診療放射線科学科	100点	100点		200点	200点	200点	800点
臨床検査学科	200点	100点		200点	200点	200点	900点

(注1) 作業療法学科及び診療放射線科学科の国語の配点は、200点満点を100点満点に圧縮し100点満点とします。

(注2) 理学療法学科、診療放射線科学科及び臨床検査学科の外国語の配点は、リーディング(100点満点)を(120点満点)、リスニング(100点満点)を(80点満点)に換算し200点満点とします。

(注3) 作業療法学科の外国語の配点は、リーディング(100点満点)を(60点満点)、リスニング(100点満点)を(40点満点)に換算し100点満点とします。

(注4) 大学入試センターの受験上の配慮事項により『英語』のリスニングが免除された場合は、英語のリーディングの得点に200/100を乗じた点数を得点とします。

2) 第2段階選抜

第2段階選抜における、大学入学共通テスト、個別学力検査、小論文・面接の配点は、以下のとおりとします。

【理学療法学科】

大学入学共通テスト						面接	合計
国語	地理歴史 公 民	情報	理科	数学	外国語		
200点	100点		200点	200点	200点	200点	1,100点

【作業療法学科】

大学入学共通テスト						小論文	面接	合計
国語	地理歴史 公 民	情報	理科	数学	外国語			
100点	200点			100点	100点	150点	100点	750点

【診療放射線科学科】

大学入学共通テスト						個別学力検査			面接	合計
国語	地理歴史 公 民	情報	理科	数学	外国語	数学	理科	外国語		
100点	100点		200点	200点	200点	200点	200点	200点	100点	1,500点

【臨床検査学科】

大学入学共通テスト						個別学力検査		面接	合計
国語	地理歴史 公民	情報	理科	数学	外国語	理科（2科目）	外国語		
200点	100点		200点	200点	200点	300点	150点	60点	1,410点

- (注1) 作業療法学科及び診療放射線科学科の大学入学共通テストの国語の配点は、(200点満点)を(100点満点)に換算します。
- (注2) 理学療法学科、診療放射線科学科及び臨床検査学科の大学入学共通テストの外国語の配点は、リーディング(100点満点)を(120点満点)、リスニング(100点満点)を(80点満点)に換算し200点満点とします。
- (注3) 作業療法学科の大学入学共通テストの外国語の配点は、リーディング(100点満点)を(60点満点)、リスニング(100点満点)を(40点満点)に換算し100点満点とします。
- (注4) いずれの学科においても、大学入試センターの受験上の配慮事項により『英語』のリスニングが免除された場合は、英語のリーディングの得点に200/100を乗じた点数を得点とします。
- (注5) いずれの学科においても、調査書は面接の参考資料とし、点数化はしません。

大学案内図（試験場案内図）

JR 福島駅東口バスターミナル福島交通バス「バイパス経由医大」行き乗車、「医科大学前」停留所下車、徒歩1分。（所要時間約30分）

運行時刻等は事前にご確認ください。

